

6月18日 全校朝会の話 「引き取り訓練」

15日(土)は、授業参観でした。皆さんが、真剣に学習している所を見ていただけて、良かったです。また、その後の避難訓練では、お家の人に迎えにきていただき、一緒に帰る練習をしました。安全に家まで帰ることができましたでしょうか。

さて、今回の避難訓練では、地震が起こりそうだという警戒宣言が出たという想定でしたが、実際に地震が起きた時にはどのようなになるのか、13年前に起きた、東日本大震災のときの様子を見ながら考えてみます。

まず、大きな地震で、家が倒れたり、道が壊れてしまったりしたときです。このときは、まず、学校にいるみんなの命を守る行動をします。そして、お家の人に迎えにきてもらうことになりますが、みなさんのお家の人は、迎えに来ることができるでしょうか。

道がこわれる、建物がくずれるなどの理由で、お家の人学校までたどり着けないこともあるかもしれません。また、お仕事をされていて、そこでの役割を果たすことで、お迎えに来られないかもしれません。病院に勤めている人、消防士さんや警察官など、たくさんのお仕事考えられます。

次に、停電が起き、電車が止まってしまうとどうでしょうか。実は、東日本大震災のときの東京は、こんな様子でした。写真を見ても、家や道が壊れていませんが、停電や検査のため電車が止まってしまい、町に人があふれ、道路は大渋滞でした。遠くでお仕事をしているお家の人、皆さんを迎えに

来ることができなくなることが考えられます。実際、東日本大震災の日、先生が勤めていた学校でも、お家の人迎えに来ることができず、学校に泊まった人が何人もいました。

そこで、お家の人と、話してみてください。実際に地震が起こったら、どれくらいの時間で学校に迎えに来てくれるか、ということです。もしかしたら、何日も迎えに行けない、というお家の人いるかもしれません。でも、そのことを知っていれば、不安や心配も少なくなります。校長先生も、大きな地震が起こったら、最

みち たても
道がこわれたり、建物がくずれたりします



てつどう と みち じゅうたい
鉄道が止まり、道が渋滞します。



家で
おうちの
人と
話して
合ってください

大きな地震のとき
どれくらいの時間で
迎えに来てくれますか

低1週間は家には帰れません、と家族に話しています。お家の人が迎えに来ることができなくても、みなさんは安心してください。お家の人が迎えに来るまで、学校で安全に過ごすことができるように、色々な準備をしています。

このお話、本当は避難訓練の日に、お家の人がいるところで一緒に聞いてもらえばよかったのですが、とても暑く、熱中症が心配でしたので、朝会でお話ししました。ぜひ、お家で話題にしてみてください。

おうちの人
迎えにこなかったら？

学校で安全に気を付けて
過ごすことができます